

目次

I

パーキンソンの拡大法則	3
マンション亡国論	7
学術会議と科学技術会議	11
大学をどうしたらよいか	14
文献の洪水	18
科学研究費の増加率	21
新知識人論	26
日本数学物理学会の百年	31
学術会議三十年	35
独創性発揮の時代	40

学術研究面から見た大学の未来像 128
 科学者の創造性を醸成する要因について——創造性ははたして作れるか—— 138
 科学技術政策 157
 科学者社会の憲章 165
 付学術振興の基本 177
 科学研究における手段の意義——菊池先生と嵯峨根先生と—— 184
 東大・鎖国・まね研 191
 科学と人間性 200
 アストロンの運命 214
 モホールはノホールか 222
 対談 科学の危機がいまなぜ問題か 243

III

科学の反省 261
 自然科学と政治 298

解 説

久保亮五 309

創造性論議について	42
工科系と理科系と	47
中国の物理界	50
「きのうきょう」(コラム、一九五七年)	55
原子世界の時間 寄席の教訓 七対三か、三対七か 実験結婚式	
師弟関係 過当競争 小国の原子兵器 けたちがい 融合反応 南	
極 学者の使い方 恥知らずの盗人 試験制度 国際学術会議 数	
学者ノイマンの死 追放 研究の共同施設 目的と手段 二つの見	
方 中国の文字 中国の人口問題 洋行帰り コントラスト 中国	
の整風	

II

官庁研究所はどうあるべきか	85
科学技術基本法をめぐって	93
創造活動を育てるもの——お金も人も使いよう——	101
日本のビック・サイエンス	113
高エネルギー研究所産婆の悩み	121